

#オオイタレキシ旅

大分市内にあるとっておきの文化財の魅力を
お届けします！

—第2弾—
アートプラザ
(旧大分県立
大分図書館)



Point

展示作品の写真を撮ることはできませんが、廊下や階段などの通路は写真撮影が可能です。ただし、受付で写真撮影の申請をお願いします。

Access

所在地：荷揚町3-31(大分市役所隣)
移動時間：大分駅から徒歩10分
駐車場：大分城址公園臨時駐車場または荷揚西駐車場をご利用ください
※アートプラザ(☎538-5000)ご利用時間のみ無料となります。
開館時間：午前9時～午後10時(3階は午後6時まで)
休館日：年末年始(12月28日～1月3日)※イベント開催時は開館。
入館料：無料

☎ 文化財課 ☎578-7546

アートプラザ(旧大分県立大分図書館)が、
国登録有形文化財(建造物)となりました！

市役所に隣接する「アートプラザ」は大分市出身の世界的建築家、磯崎新さんの初期の代表作の1つです。昭和41年に「大分県立大分図書館」として建てられた後、図書館の移転に伴い文化・芸術の複合施設「アートプラザ」として生まれ変わりました。コンクリート打ちっぱなしの中空梁や、外観の巨大なペアウォール、スキップフロアを多用し高低差を設ける内部空間が独創的であるなどと評価され、令和4年10月31日に国の登録有形文化財に登録されました。市には、他にも磯崎さんの作品が沢山！磯崎建築めぐりはいかがでしょう。

市民図書館からのお知らせ

児童書のリサイクルフェア

無料

保存期限が過ぎた図書、不要になった図書の無償配布をします。

日時：6月24日(土)
午前9時30分～11時30分
午後0時30分～2時30分
場所：市民図書館2階 会議室
※6月1日(木)から同場所にて、日時指定整理券を配布。

「本の七夕飾り」を飾ります

無料

市民図書館中央カウンター前に、バンブーツリーを設置します。短冊に「お薦めの本」を記入し、飾ってください。
皆さんが書いた短冊で七夕飾りを楽しく飾りましょう。

設置期間：7月3日(月)～8月2日(水)
※7月10日(月)・24日(月)は休館日

☎ 市民図書館 ☎576-8241

このコーナーでは、市民図書館が所蔵している
新刊を紹介します。



あらしとわたし

ジェイン・ヨーレン ハイジE.Y.ステンプル：文
クリスチャン&ケビン・ハウデッセル：絵
評論社

自然災害は突然やって来て大きな被害をもたらします。そんな自然と共存し、たくましく生きる人々の暮らしを描き、私達も自然の一部なのだと思わせられる絵本です。気象についての解説があり、環境について考えるのにぴったりです。

「ありそうでなかった アイデア」のつくりかた

いしかわかずや：著
クロスメディア・パブリッシング

SNSでの発信やクリエイターとして注目される著者が、アイデアを生み出すための発想法や習慣について書いた本です。自分はセンスがない…とあきらめる前に、この本を読んでみませんか。目からウロコが落ちてハードルが下がることでしょう。



人権・同和教育シリーズ 534

父の気持ち



人の生き方を考える

父は近頃、急に足腰が弱くなり、生活のさまざまな場面で介助が必要になってきました。出掛けることが好きだった父が「迷惑を掛けるから…」と言い、家にこもるようになりました。心配したわたしは「久しぶりに読書でもしようよ。わたしも読みたい本があるから、一緒に図書館に行こう」と父を説得し、連れ出したのでした。図書館に着くなり「トイレに行きたい」と言う父に寄り添い、近くのバリアフリートイレに向かいました。ところが、トイレは使用中で、しばらく待っていました。空きません。仕方なく、別のトイレを探そうとしたときでした。近くにいた人から「バリアフリートイレなら向こうにもありますよ。ちょっと離れているので、車いすを持ってきましたよ。か？」と声を掛けられたのです。わたしが「ありがとうございます。お願いしてもいいですか？」と恐縮しながら応え、その人は「いいですよ。ちょっと待っていてくださいね」

と軽く返し、あつという間に車いすを持ってきてくれました。車いすに座る父をそばで見守り「お氣をつけて」と言葉を掛け、去っていくその人に、わたしがもう一度お札をと思ったら、先に父が「ありがとうございます。ありがとうございます」と大きな声で言ったのです。トイレを終え、本を借りに向かっていると父が「いい人もいるんだな…」とつぶやき、続けて「思うように動かない体にイライラしていたし、そんな自分が外に出ると周りもイライラさせるようで、家に居ることが多くなったんだ。でも、やっぱり外に出るっていいな。こんな気持ちになったのは久しぶりだよ」と話しました。嬉しそうに語る父を見ながら、あの人の行動が父をこんなにも生き生きさせたのだということに気づき、わたしもあんな行動がとれるようになるたい、もっと父と一緒にいるるなところへ行きたいという思いを強くしたのでした。

ちょっとした気づきからの声掛けが、大きな助けや支えにつながることはありません。

一人ひとりが「もし自分だったら」と相手の立場に立って考えることが大切ではないでしょうか？

Q市報クイズ

○に入る言葉は何か？

本市作成のさまざまな災害に対する
知識と備えをまとめた冊子の
タイトルはなんでしょう？
わが家の○○マニュアル

ヒントは、この市報の中にあります。

正解者の中から抽選で、市美術館特別展「ドイツ・ミュンヘン MUCA展」ペアチケットを3人にプレゼント！
※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

スマホはがき 右の二次元コードから応募してください。
はがき はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、6月15日(木)〈消印有効〉までに広聴広報課(〒870-8504 荷揚町2-31 ☎537-5713)へ。



5月1日号
「市報クイズ」の
答え

5月1日号から始まった、市内にある文化財の
魅力をお届けするコーナーの名前は？
#オオイタレ(+)シ旅

編集担当より

今回の表紙は、うーたの里(大字横尾)で昨年6月下旬に撮影したハンゲショウです。

木の橋の両サイドに咲くハンゲショウがとても素敵ですね😊
地域で失われつつある里山を再生するべく、地域の人たちで活動されているとのこと。👏
今後もこの美しい風景を守り続けていってほしいですね。✨

市公式SNSでは、旬な情報を発信中!



市公式SNSは
こちら▶

